

# 平成 24 年度進学説明会

## 1. 概要

昨年度に続き、平成 24 年度進学説明会を本校会場・明石会場・西宮会場・姫路会場の 4 会場で実施した。各会場では説明会場を 2 か所設け、説明は同時進行で行われた。

## 2. 開催日・会場・時間割・参加人数

### 2.1 開催日・会場

6 月 10 日 (日)	西宮会場 (西宮市大学交流センター)
6 月 16 日 (土)	姫路会場 (姫路じばさんビル)
6 月 17 日 (日)	本校会場
7 月 8 日 (日)	明石会場 (アスピア明石)

### 2.2 時間割

校長 (副校長) 挨拶 5 分 / 概要説明・全体質問 60 分 / 個別質問 30 分

### 2.3 参加人数

本校会場 284 名 / 明石会場 89 名 / 西宮会場 110 名 / 姫路会場 36 名

### 2.4 スタッフ

挨拶 <伊藤, 赤対・橋本 (好)・大淵>

概要説明・司会・全体質問・個別質問

<G 八百, C 宮下, G 町田・G 大多喜・M 吉本・E 中村・D 藤本・S 山下>

受付 <稲田・若山・森岡・横部>

## 3. 実施方式・内容

進学説明会・オープンキャンパス・秋の進学説明会の三行事を告知するポスター、チラシ、リーフレットを各中学校に送付し、本校ホームページにも各会場の実施日時と場所を掲載し告知を行った。

概要説明では、オープンキャンパスで使用しているプレゼンテーションファイルについて、各科の求人倍率、進学先、就職先や、クラブおよび各種コンテストの結果などの情報を最新のものに更新して行った。全体会での質問は従来と同様、受付で配布した質問カードに事前記入して頂いたものを概要説明開始前に回収し、概要説明後に全体に対して回答するという形式をとった。質問の多くは入学試験や学生生活、卒業後の進路についてであった。そして説明会の最後に、神戸高専の魅力を中学生に体感的に知っていただくためにもオープンキャンパスへの参加を積極的に呼びかけた。西宮・姫路・明石会場では説明会を 2 会場で説明会を同時に行い、本校会場でも午前中はホールと専攻科大講義室の 2 会場で同時に実施した。全ての会場において参加人数は昨年度より減少した。しかし、一昨年度よりは多い人数であった。

## 4. 総括

昨年度よりも参加者は減少したが、参加した方々は非常に熱心に説明内容に聞き入っていた。来年度も引き続きポスターやリーフレット、ホームページ等を活用し、多くの中学生や保護者に神戸高専が認知され、興味を持っていただけるような広報活動を実施したい。

(文責 広報室入試広報部会 中村 佳敬)



進学説明会 (西宮会場)



進学説明会 (姫路会場)

## 平成24年度編入生見学会

平成25年度編入を希望する高校生を対象に見学会を行なわれた。

### 1. 見学会の日程：

平成24年6月2日(土)

受付 9:30～

見学会 10:00～12:00

### 2. 参加者：M科3名，E科1名，C科2名の計6名

### 3. 内容：内容学校説明と在校生との懇談の後，施設見学を行った。

懇談会：司会（宮下先生），説明（藤本先生），補助（八百先生）

M5D 亀谷（進学予定），E5 三戸口，C4 三好

9:00 本部棟集合

10:20～11:00 在校生

11:00 各学科見学会(20分程度)

### 4. 見学内容：

機械工学科は，生徒3名内1名は高校2年生もいた。主に施設として機械工学科実習工場（図1） CAD室（図2）またロボット関連の実験室等を見学した。

電気工学科は，生徒1名が電気工学科5年に在籍する編入生と共に電気機械実験室や高電圧工学実験室を見学した。また，800KV 衝撃電圧発生装置を用いた模擬雷実験の様子を撮影した動画を閲覧した。

応用化学科では4年生ホームルーム教室や計測室や化学実験室を見学した。

その後アンケートを書いて終了となった。

見学生徒は熱心に機器の動作原理やその応用についての説明を聞き入り，同行した編入生にも気軽に質問を投げかけていた。

（文責 機械工学科 吉本隆光）

# 平成 24 年度オープンキャンパス報告

## 1. はじめに

今年度も夏季休業期間中の 2012 年 8 月 21 日火曜日から 23 日金曜日までの 3 日間にわたり、オープンキャンパスを開催した。参加者数は以下の通りであった。

21 日（火） 中学生 190 名，保護者 131 名

22 日（水） 中学生 178 名，保護者 136 名

23 日（木） 中学生 192 名，保護者 115 名      3 日間計 中学生 560 名，保護者 383 名

5 年前の平成 19 年度は 3 日間計中学生 533 名，保護者 304 名であったから，県内 15 歳人口が漸減傾向にある中，多数の参加が得られていると言えるだろう。近年，印象としては保護者の関心，参加が高くなっていくように感じる。午前中に保護者対象の全体説明会と校内巡回コースの見学を行い，そのような動向に対応している。

## 2. 中学生にとってのオープンキャンパス

全体説明会と 5 学科の時間割制の実験への参加，体験で構成する形式はこの行事創設以来のものである。近年は県内中核都市での進学説明会を行う関係から，その内容が全体説明会での説明内容と重なる部分もあるが，アンケートの結果によれば，神戸・明石・西宮・姫路の説明会にも参加した者は 166 名。参加していない中学生は 394 名で約 70%の学生は，ここで初めて神戸高専についてのまとまった情報に接していることになる。

またオープンキャンパスそのものをどのようにして知ったか，という設問に関して（いずれも複数回答可），「中学校での説明会，資料プリント，先生の紹介」との回答が 406，中学校に配布したオープンキャンパスのポスターとする者が 120 となる。本校のホームページを見て参加した者（回答数 122）を能動的参加者とするならば，中学生の多くは現在通っている中学校を通じて，神戸高専についてのまとまった情報を得る機会としてのオープンキャンパスに参加していることになる。オープンキャンパスに向けての本校の準備作業はもちろん，夏季休業前後に本校が依頼することによって生じる中学校の先生方の事務的負担は少なくはないが，多くの中学生に神戸高専を知ってもらう契機になっていることは間違いない。

中学生の志望校選定が具体化するのには，2 学期の進路調査からなので，オープンキャンパスに参加した中学生が実際に翌年の入試を受検する割合は，秋の高専祭時に開催した進学説明会に比べ低くなる。そのため作業量対効果からオープンキャンパスの改組・縮小を検討する声も毎年，存在するが，能動的に神戸高専を知ろう，知っているという中学生層は厚くないというアンケート結果を見れば，まずはオープンキャンパスに参加してもらうことで，神戸高専という学校，あるいは高等学校とは異なる進学先としての高専という学校制度を知ってもらう機会という位置づけでの広報活動が重要だろう。

## 3. ロールモデルとしての在校生

5 学科の実験では例年同様，5 年生および専攻科生が協力してくれた。彼らの活躍は見学した中学生に強い印象を残しているようである。アンケートから中学生の声を抜粋すると，「全部の学科を体験できて楽しかったです。」「教えてくれる人がすごくわかりやすく教えてくれてよくわかった。」「先輩方や先生方に優しく教えていただいてよく分かった。まだ迷っているが高専に行くのもいいな～と思った。」「お兄さんやお姉さん方がいろいろおもしろいことをしてくれたので興味を持ちました。」

各学科での体験時間は移動時間，班分け，説明などを含めると，実際のところ，30 分間程度である。各実験のテーマ，内容に対する興味・関心だけでなく，中学 3 年生には本校在校生の完成形である 5 年生，専攻科生の立ち居振る舞いが強い印象を残していることが伺われる。このような関係は高校での同種の行事では得にくいのではないかと。もし彼が来春に本校に入学すれば，6 年後には同じ役割を果たしてくれるであろう。この行事の創設から 20 年余。体験型のオープンキャンパスは神戸高専という学校を地域の中学生に知ってもらう機会として，今年も地味ではあるが着実な歩みを進めたと言えるだろう。

（文責 広報室入試広報部会 一般科 町田吉隆）

# 平成 24 年度 秋の進学説明会

## 1. 概要

高専祭期間中に学内で行っていた「学校見学会」を、今年度は姫路と西宮にも会場を設け、「秋の進学説明会」として行った。本校会場では、昨年と同様、全体の説明会に引き続き見学会を行った。姫路会場と西宮会場では、6月の進学説明会と同様、全体説明に引き続き個別質問に回答した。

## 2. 会場・開催日・時間割・参加人数

本校会場：平成 24 年 10 月 28 日(日)

<午前の部> 受付 9:00～、全体会 9:30～10:30

<午後の部> 受付 13:00～、全体会 13:30～14:30

表 1 全体会参加者数

	午前	午後	計
中学生	200	72	272
保護者	207	71	278
計	407	143	550

<学校見学会> 10:30～11:30 (20分2回、各科施設を見学)

14:30～15:30 (20分2回、各科施設を見学)



写真1 校長挨拶  
(補助椅子がステージ直前まで並ぶ。)



写真2 第2会場も満員

表 2 学校見学会の学科別参加者数

	午前1回目		午前2回目		午後1回目		午後2回目		種別計		合計
	中学生	保護者	中学生	保護者	中学生	保護者	中学生	保護者	中学生	保護者	
M	69	76	24	19	23	27	9	5	125	127	252
E	54	42	53	46	9	7	9	7	125	102	227
D	30	27	31	31	12	10	15	12	88	80	168
C	48	35	17	17	10	17	10	7	85	76	161
S	19	15	30	24	8	5	4	7	61	51	112
計	220	195	155	137	62	66	47	38	484	436	920

姫路会場：平成 24 年 11 月 10 日(土) 参加者数 10 人

受付 9:30～、説明会 10:00～11:00

姫路商工会議所会館 6 階 605 会議室

西宮会場：平成 24 年 11 月 11 日(日) 参加者数 26 人

受付 10:00～、説明会 10:30～11:30

アクタ西宮 6 階大学交流センター大講義室



写真3 西宮会場の様子

## 3. 総括

本校会場は昨年度よりも 150 人増えた。午前は市内の方、午後は市外の方といった縛りをなくしたことが功を奏したようだ。初めての開催であることや駅から遠い会場であったこともあり、姫路会場の参加者は少なかった。

(文責 広報室入試広報部会 大多喜 重明 )

# 個別学校見学の実施

## 1. 概要

昨年度、従来から行われていた6月の進学説明会、8月オープンキャンパス、10月の秋の進学説明会に加え、それまでの見学会に参加できなかった、あるいは、10月以降本校を志望するようになった受験生のための個人見学を実施した。今年度は昨年度の反省を踏まえ、方式に変更を加えたうえで継続実施した。

## 2. 実施要項

### 2.1 実施日時

平成23年11月26日、28日、12月6日、10日、11日、13日、14日、18日、21日、平成24年1月8日  
いずれも放課後16:00より

### 2.2 参加者

- ①実参加者数：42名
- ②のべ見学数：78名

### 2.3 実施方式

- ①広報：中学校宛案内文送付、本校ホームページへの掲載
- ②申込：個人単位でFAXにて受付。希望日の前日までに申し込み。
- ③内容：希望学科の見学および希望者への概要説明

## 3. 課題

- ・昨年度は、特に日程を指定せずに参加者が希望する日に対応するように設定したが、今年は昨年度の実績から需要が多い日に集中して行うようにした。
  - ・より気軽に参加できるよう前日までの申し込みとしたが、前日の夜間に申込FAXが届いていたこともあり、昨年同様応対を求められた各学科の広報室委員にとっては、負担となった。
  - ・昨年同様中学校の放課後を設定したが、学校行事等の関係でかなり遅れてくる参加者がいた。
- 昨年度の反省点をふまえて実施方式に変更を加えたが、結果としては十分に改善ができたとは言えないものとなった。
- 一方、参加者は昨年より増加しており、相変わらずこの時期の見学会には需要があることを示している。この時期に見学を希望する中学生は、本校受験の意思をほぼ固めていると考えられるため、さらなる改善を図ることでより効果的な運用を目指す必要がある。

(文責 広報室 八百 俊介)

# 中学校における出前説明会の実施

## 1. 概要

本校では、受験を控えた中学生に対する学校紹介の広報活動として6, 7月に開催する進学説明会, 8月のオープンキャンパス, 10月に行われる学校見学会を行っている。これに加え中学校から招請があった場合, 招請先中学校において学校紹介を行っている。形式としては, 体育館等で学年全体を対象とするものと個別教室において希望者のみを対象とするものの二通りがあり, いずれも他の高等学校も同時に招かれている。

## 2. 実施状況

今年度は9校から招請を受け実施した。

日程	派遣先
6月12日(火)	神戸市立八多中学校
6月21日(木)	明石市立衣川中学校
6月24日(金)	神戸市立有馬中学校
7月4日(水)	神戸市立烏帽子中学校
8月20日(月)	神戸市立有野中学校
10月10日(水)	神戸市立大池中学校
11月9日(金)	神戸市立西神中学校
11月16日(金)	神戸市立平野中学校
11月16日(金)	神戸市立垂水中学校

## 3. 展望と課題

今年度は, 昨年より若干派遣先が増えている。中学校側が, 生徒の希望調査等をもとに招請する学校を選択しているとすれば生徒の関心度が高いと思われる。

一方, 時間割の関係上派遣できる広報室員が決まることに加え, パソコン・プロジェクター等の機材を携行する場合, 自家用車の公用登録など移動手段が制約されることもある。そのため, 中学生に直接アピールできる有効な手段ではあるが, 積極的な活動拡大を図るには条件整備が必要となるであろう。

(文責 広報室 八百俊介)

# 花時計ギャラリー展示

## 1. 概要

平成15年度より本校PRの一環として、三宮地下街「さんちか」の神戸市役所近くにある「花時計ギャラリー」でパネル展示を行っており、今年度でちょうど10年となる。展示当初は広報プロジェクトを立ち上げて対応していたが、平成22年度からは広報室が新たに組織され、展示を担当している。今年度のウインドウの割り当ては例年と同様に高さ1500mm、幅2660mmのウインドウ2枚分である。展示期間は昨年度と同じ1週間であった。展示内容は、本校における地域貢献と最近力を入れ始めた学生の国際交流の成果をPRすることにした。

## 2. 展示内容

- (1) 展示テーマ 「神戸高専の地域貢献・研究活動・国際交流」
- (2) 展示期間 2012年6月21日(木)～6月27日(水)
- (3) 場所 花時計ギャラリー Bブロック
- (4) 展示物 パネル4枚(A0サイズ)
- (5) 展示内容
  - ①パネル1 学校紹介
  - ②パネル2 夏季公開講座(夏季公開講座, 初心者のための水泳教室他)
  - ③パネル3 学生の研究活動(専攻科研究テーマおよび学会表彰)
  - ④パネル4 神戸高専の国際交流(海外からの来校交流, 海外への派遣交流)
- (6)設置および撤去
  - 設置日時 2012年6月21日(木) 午前(対応: 谷屋, 中尾, 尾崎)
  - 撤去日時 2012年6月27日(水) 午後(対応: 早稲田, 尾崎)



図1 展示パネル(全体)



図2 展示パネル(左側)



図3 展示パネル(右側)

(文責 広報室 尾崎純一)



# アドウィンドウ展示

## 1. 概要

本校のPR活動の一環として、三宮地下街さんちか通路にある「アドウィンドウ」で展示を行った。アドウィンドウでの展示は、平成16年度から行っており今年度で9年目となる。平成22年度からは広報室が組織されたことから、アドウィンドウの展示は広報室が担当している。

今年度の展示はAブースで、展示内容は、「神戸高专におけるものづくり」である。

## 2. 展示内容

- (1) 展示テーマ 「神戸高专における“ものづくり”」
- (2) 展示期間 2012年12月1日(土)～2012年12月27日(木)
- (3) 場所 アドウィンドウ Aブース
- (4) 展示内容 パネル9枚(A1サイズ2枚, A3サイズ5枚, A4サイズ2枚), 作品7点
- (5) 展示内容詳細
  - ①学校紹介パネル2枚
  - ②レスキューロボット活動紹介(ロボット1台およびパネル1枚)
  - ③ソーラーカー部活動紹介(パネル1枚)
  - ④ロボカップ活動紹介(サッカーロボット2台およびパネル1枚)
  - ④機械工学科 レスキューペーパークラフト(作品1点およびパネル1枚)
  - ⑤電気工学科 神戸ポートタワー, スペクトルアナライザー(作品2点およびパネル1枚)
  - ⑥応用化学 分子模型(分子模型2点およびパネル1枚)
  - ⑥都市工学科 デザインコンテスト出展作品(作品1点およびパネル1枚)
- (6)設置および撤去
  - 設置日時 2012年11月30日(金)午後(対応:八百, 早稲田, 佐藤, 中尾, 尾崎)
  - 撤去日時 2012年12月27日(木)午後(対応:八百, 西, 谷屋, 尾崎)



図1 アドウィンドウ展示の様子

(文責 広報室 尾崎純一)